

# 「自ら考え、課題を解決できる児童の育成」 ～思考力・判断力・表現力を高める指導を通して～

## I 研究内容

### 1 研究内容と方法

#### (1) テーマにもとづく校内研究

##### ①理論研究

※算数科において、次のことを高める指導法について

- ・問題や課題を読み取る力。
- ・読み取った事(情報)を整理し、判断しまとめる力。
- ・自分の考えを表現(説明)する力。

※読み取る力や表現する力を高めるための言語活動の充実について

##### ②授業実践(ブロックごと1本ずつ。)

##### ③一人一実践の取り組み(指導案検討や授業後の研究会は行わない。)

#### (2) 学習環境・規律等授業の構造化について

#### (3) 新学習指導要領に基づいた教育課程年間指導計画の見直しについて

### 2 具体的な取り組み

#### (1) 基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着

→基礎・基本がもととなり、思考力・判断力が育っていく。

#### (2) 各教科における言語活動の充実

→①体験から感じ取ったことを表現する。

②事実を正確に理解し伝達する。

③概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。

④情報を分析・評価し、論述する。

⑤課題について構想を立て実践し、評価・改善する。

⑥お互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。

特に算数科における言語活動を充実させるには

→①見通しをもち根拠を明らかにし、筋道立てて考える学習活動を充実させる。

②言葉や数・式・図・表・グラフなどを適切に用いて、問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し合ったりする学習活動を充実する。

③考えを表現する過程で、そのよさや誤りに気づいたり、筋道を立てて考えを進めたり、よりよい考えを作ったりすることができるよう指導を充実させる。

④授業の中では、様々な考えを出し合い、お互いに学び合っていくことができるようにする。

#### (3) 思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善の手立て

①育てたい数学的な思考力・表現力を明確にすること。

②問題解決型の過程をとること。

課題理解 → 見通す → 自力解決 → 集団検討 → まとめる (つかむ → 考える → 話し合う → 考えを使う)
---

#### ③問題解決学習の過程での手立て

「つかむ」・・・「なぜ」「どうして」といえる問題提示の工夫。

「考える」・・・問題を表した絵・図の活用、ヒントカードの提示、  
具体物操作を取り入れる。

「話し合う」・・・ペアや班などの少人数で、全体で話し合う活動。

「考えを使う」・・・簡単・便利な方法で問題を解いていく。

④既習内容をもとに考えることの習慣化。

⑤言葉・数・式・図などの表現を用いて表現する。

※発表ボードの活用。

### 3 具体的実践

#### (1) 学習会

「算教科における思考力・判断力・表現力を高める指導について」

講師 峽東教育事務所 萩原徹 主幹指導主事

#### (2) 実態調査

6月 算数の学習アンケート1回目実施

2月 算数の学習アンケート2回目実施

#### (3) 授業実践

##### ア 研究授業

- ・ 第1学年 金井京子 教諭 算教科「たし算」
- ・ 第5学年 土屋弘明 教諭 算教科「図形の角を調べよう」

##### イ 授業公開（一人一実践）

- ・ 第2学年 青柳仁美 教諭 算教科「かけ算（1）」
- ・ 第3学年 高石圭子 教諭 算教科「かけ算のしかたを考えよう」
- ・ 第4学年 泉 薫 教諭 算教科「広さをくらべよう」
- ・ 第6学年 岡 正人 教諭 算教科「比例をくわしく調べよう」
- ・ 特別支援学級 名取美和 教諭 算教科「かけ算のしかたを考えよう」

## II 成果と課題

### 1 成果

- (1) 今年度は昨年度の課題より、教科を算数に絞って研究を進めた。全職員が一つの方向で研究ができ、共通理解を図ることができた。
- (2) 6月に萩原主幹指導主事をお招きし、学習会ができたことは、早い段階で研究の内容や方向性がしっかりと確認でき、とても良かった。
- (3) 今、求められている学力に迫る研究であり、教材をよく吟味し、学習過程、学習形態に工夫した授業が展開できた。
- (4) ペア学習やグループ学習の形態を工夫したり、発表の仕方を工夫したりするなど、表現力の向上についての研究が進んだ。
- (5) 授業者がそれぞれ研究内容を意識した授業展開を図り、検証授業として生かされる内容で、日々の実践に役立てることができた。
- (6) 算教科における言語活動にも取り組んだことが成果となっていてきてきているが、算数のみでなく、朝の会・帰りの会・国語科等、日常の中での取り組みが算教科に反映できた。
- (7) 今まで習った学習をもとに、課題に対していろいろな考えがもてるようになった。考える（考えようとする）力や表わそうとする力が、一歩ずつ着実に定着しつつある。

### 2 課題

- (1) 身につけさせたい力を算教科だけでなく、他教科に広めていきたい。
- (2) 日常的な取り組みも含め、今年度の研究を継続していきたい。

## III 成果物

- 1 研究授業及び授業公開の指導案7点
- 2 算数の学習アンケート結果
- 3 算数CRT検査結果

(研究主任 高石圭子)